



伝統工芸士 西村 良雄さん

苦しい経験を通して、どうすればお客様に喜んでもらえるかを考えたとき、私ができることは、**ほんまもの京友禅の魅力**を**分かりやすく伝えること**だと思いました。現在、当工房には外国人の観光客が年間4,000人以上訪れますが、どこの国の人も満足できる作品が完成すれば、顔をほころばせて喜んでくれます。そこに**言葉は必要ありません**。出来上がったハンカチやバッグそのものが共通語なのです。今、単に見るだけの観光から、経験したり体感したりする観光へとニーズが変化していますが、周りを見渡せば、京友禅以外にも、たくさんの共通語が埋もれていると思います。いろんな体験を提供することで、京都の文化に触れる機会を広げてはいかがでしょうか。



体験を通して  
心に染みるおもてなし

## こころを込めて 我が社のおもてなし

### 有限会社丸益西村屋

代表者／西村 良雄  
住 所／京都市中京区小川通姉小路上壺屋町 457  
TEL / 075-211-3273  
URL / <http://www.marumasu-nishimuraya.co.jp/>

京友禅の染色を手がける職人だった西村良雄さんが体験工房を始めたのは、今から20年ほど前のこと。着物市場が縮小する中で、新しいビジネスを立ち上げようと考えたのがきっかけです。当初、来客者は少なく、1ヶ月にわずか2、3人だったことも。『時間はかかりましたが、体験工房はお客様と直接向き合うサービス業・観光業であり、おもてなしの視点が重要だと気づきました』。

丸益西村屋では、本物の京友禅と同じ道具、技法を使って、ハンカチやバッグなど様々な小物の制作体験ができます。お土産としても好評です。「楽しくなければ、体験ではありません」。型紙一つとっても、伝統的な図柄以外に、愛らしい動物や花、昆虫など千種類以上を用意。スタッフの指導のもと、友禅の難しい決まりに捉われることなく、自由な発想で自分だけのオリジナル作品を作れるのが魅力です。

「どこから来たの?」「ゆっくり楽しんでね」。一人ひとりの目を見ながら、優しく声をかけていく西村さん。おもてなしの基本は、お客様に心地良い時間を過ごしていただくこと、と話します。現在では、年間5万5千人の観光客が訪れるようになりました。暖簾をくぐれば、今日も路地の向こうで賑やかな声がこだましています。